とやま こども・若者みらいプラン

意見聴取結果

「とやまこども・若者みらいプラン」の策定にあたり、多くの皆さんから ご意見をいただきました。ありがとうございました。

いただいたご意見は、プランに反映したほか、少子化を乗り越え、 希望が叶う未来に向けた今後の取組みに活かしてまいります。



No.	意見聴取方法	対 象
1	知事とのこども意見表明交流会	県内の小学生、中学生
2	高校生とやま県議会	県内高校生
3	こども県政モニターからの意見聴取 (アンケート調査)	こども県政モニター登録した小学生、中学生、高校生
4	声を聴かれにくいこどもへの意見聴取 (アンケート調査)	① フリースクールに通う児童生徒 ② 外国にルーツのある児童生徒
5	とやまホンネトーク (東京の回)	富山県出身者で都内で就職している若手社会人
6	とやまホンネトーク(大学生の回)	富山県在住の大学生・大学院生
7	とやまホンネトーク (若手社会人の回)	富山県在住の若手社会人
8	とやまホンネトーク (子育ての回)	富山県在住の子育で当事者

1 知事とのこども意見表明交流会

〈学費の補助〉

• 行きたい学校があっても、家庭の事情で 行けない人がたくさんいる。そんな人の ために、学費を補助してもらえる制度が あるとよい。



〈子育てを支援する施設の設置〉

こどもが遊べて、親が子育ての悩みを相談ができる施設があるとよい。

〈こどもの意見表明〉

小さいこどもたちも意見をたくさんもっているので、学校に行けないこどもや小さいこどもも、気軽に意見を言える場を作ってほしい。

〈大人とこどもが意見を交換する場〉

- こどもの意見を聴くだけでなく、大人を交えて意見を共有し、認識を一致させたり、共通点を見いだすことが必要だと思う。
- ・悩みを抱えているこどもが自分から悩みを大人に打ち明けられることが 大切だと思う。しかし、周りに悩みを打ち明けられる大人がいなかった り、自分から打ち明けられなかったりするので、悩みを抱えているこど もをしっかりとサポートする体制を作ることが大切だと思う。

2 高校生とやま県議会

〈男女の格差〉

- ・家事や育児の負担が女性に偏っていること に関して、男女の格差が是正されるとよい。
- ・職場での男女の格差が是正されることで、 女性が働きやすくなると思う。



〈ライフプランを考える機会〉

• こどもの頃からライフプランを考え、将来に対する知識をつけていくことは大事だと思った。

〈情報発信〉

• 富山県の子育て支援や人口減少対策について、一般の人にはあまり伝わっていない。情報発信の仕方が大事だと思う。

〈放課後児童クラブ〉

• 長期休暇期間中の小学生が、安心して時間を過ごせる場所を整備する取組みがあるとよい。

〈不登校への対応〉

- 不登校の学生等が増えている中で、経済 的な支援や施設の設備等、いろいろな面で サポートがあるとよい。
- 学校に通えないこどものためのサポートや 取組みがもっと広まるとよい。



3 こども県政モニターからの意見聴取(アンケート調査)

〈遊び場・居場所に関すること〉

- もっと自由に遊べる公園がほしい。
- 悪天候のときに体を思いっきり動かせる無料の場所がほしい。
- 休日、寂しくなった時に、立ち寄ると同年代の人と出会える場所がある とよい。
- こどもたちが気軽に集まれる場所が身近にもっとたくさん増えてほしい。
- こどもが無料で遊びに行けて、話を否定せずに聴いてくれるところ。
- 好きな分野に思いっきり浸れる空間がほしい。



〈学習のサポート等〉

- 塾に行ってないので、休日も学校で自習できるようにしてほしい。
- ・学校の一部の教科が関心を持ちにくく意欲的に授業に取り組めないので、もっと生徒の気持ちに合わせた授業にしてほしい。
- 白由進度学習の時間を増やしてほしい。
- 体験学習をもっとできるようにしてほしい。
- 自分の探究や自主学習の時間がほしい。
- 校外学習をもっとしたい。
- 一人ひとりのペースを理解し、それぞれの特性にあった個別指導をしてほしい。習熟度別学習をとりいれてほしい。疑問がある時に、すぐに聞くことができる、時間の余裕と人の余裕があるとよい。
- 教科書以外の応用問題に対するアドバイスができる人や、時間を設けてほしい。
- 学習専用端末の活用を推進してほしい。
- PCやAIの活用をもっと推進してほしい。
- オンラインで授業を見直しができたり、 わからないところを聞けたりできるとよい。



4 声を聴かれにくいこどもへの意見聴取(アンケート調査)

● フリースクールに通う児童生徒

〈フリースクールに通うこどもへの支援〉

- 中学生でも小学生の学習内容を復習したり、 わからない所を教えてくれる人がいるとよい。
- 進学のためのサポートをしてほしい。



〈居場所に関すること〉

- フリースクールに遊具がほしい。
- ソファーやクッションがたくさんある図書館や本がたくさんある学習 スペースがほしい。

2 外国にルーツのある児童生徒

〈遊び場に関すること〉

• 富山県は遊ぶところが少ないので、もっと増やしてほしい。

〈学習環境〉

• 外国人のための日本語のテキストがもっとあるとよい。

〈学費の補助〉

• 学費無料などの枠を広げてほしい。



5 とやまホンネトーク 東京の回

〈富山県のイメージ〉

- 富山県は保守色が強く、閉鎖的。
- 富山は学校といえば「頭の良さ」みたいな軸しかない。

〈富山に住む人を増やす方法〉

・働きやすい環境、子育てしやすい環境が 整っていたら、富山に帰ってきたいと思う し、富山で子育てしたくなると思う。



〈富山に戻るとしたら? 戻った時に不安なこと〉

- 年収が下がるのが怖い。富山県にUターンして働くことになった時に、 どのような待遇を受けるのか想像がつかない。
- ・先生や看護師等資格がある職業のイメージはつくが、会社で働いている 女性との接点がなく、どのように働いているのか、イメージがわかない。
- 「彼氏とかいないの?」 「結婚しないの?」 「孫の顔がみたい。」 と言って くるコミュニティに帰りたくない。

6 とやまホンネトーク 大学生の回

〈県内企業のイメージ〉

- 高校時代、富山県内にどのような就職先があるのか、よく分かっていなかった。
- ・ 就職活動の際に、富山県内には選択肢が少ないと感じた。

〈富山の暮らしの魅力〉

都会と地方暮らしのどちらがよいのかよくわからないので、違いを知りたい。

〈恋愛・結婚〉

- 結婚後にお金がかかるイベントが多そうで不安。
- 就職したら出会いが少なくなりそう。
- 「恋愛」「マッチング」などの名前を 出さずに自然に出会えるイベントが あるとよい。
- 未婚率が上がっていることが悪いことだと思わない。「自立して生きていける」「生き方の多様性」の証なのではないか。



7 とやまホンネトーク 若手社会人の回

〈職場に求めること〉

通勤時間を減らしたいので、もっと在宅ワークで働きたい。



〈男性育休の取得〉

• 企業勤めで育児休業を取得するのは無理。

〈恋愛・結婚〉

- 結婚にはネガティブなイメージが強い。
- 結婚したいが、人生や環境がガラリと変わるので不安。

8 とやまホンネトーク 子育ての回

〈男性育休の取得〉

- 数日間の休みを取るのは育休ではない。それを育児休業取得率にカウントしないでほしい。
- 男性の場合、育児休業から復職してもキャリアが閉ざされることが多い。

〈教 育〉

奨学金の返還を助成する制度についてもっと 宣伝してほしいし、対象を拡充してほしい。 転入・定着の促進のためにも必要。



〈こどもまんなか社会の実現に向けて〉

• 「こどもまんなか」社会の実現が掲げられているが、社会でこどもを見 守るためには子育て当事者以外の人にもメリットがあるということを伝 える必要があるのではないか。不平等感を解消したい。

〈産後のケア〉

- ・産後のサポート支援として、親はどうしてもこどもを優先し自分のことを後回しにしてしまうので、親のためだけに使える応援チケット(例: 授乳サポート、家事を楽にする家電購入券など)等の支援があるとよいのではないか。
- 産後ケアの充実。期間限定でもよいので、1日に数時間でも外部の人が来てくれるサポートがあると嬉しい。

〈多様な保育〉

一時保育の利用を断られたことがある。 制度があっても利用できないのなら意味 がない。



- 保育園の単発利用を気軽にできるように してほしい。
- 障害のあるこどもを専門の方に見てもらえる環境を整えてほしい。その ためにも医療従事者や保育士などの給料を上げてほしい。

〈子育て支援〉

- 子育て支援センター等のイベント告知はチラシだけではなく、SNSをもっと活用してほしい。
- 核家族が増える中、育児の負担が大きい。
- ママ・パパが気軽に話せる場が欲しい。特に父親が話せる場があるとよい。母親の意見ばかり取り上げられる傾向にあるが、父親側から全然違った意見が出てくる場合がある。そのギャップを埋めていく必要があると思う。
- ・富山県のように、車社会の地域では、習い事の送迎がすごく大変。 乗り合いタクシーのような便利なサポートがあると嬉しい。
- コミュニティナースのような、地域の困りごとをさりげなく拾い上げる 存在やコミュニティがあると嬉しい。
- 公園があっても土日しか活用されていないので、平日にこども達だけで も安心して遊べる環境を整えてほしい。例えば、大学生や高齢者による 見守りチームを結成する等、社会全体で子育てをする仕組みができたら 素敵。